

# 法華経と私たち

## 第二十回

### 法師功德品 第十九

そのとき釈尊は常精進菩薩に語つた。「もし善男子・善女人がいて、この法華経を持ち、読み、誦し、説き、書写すれば、この人は八百の眼の功德、千二百の耳の功德、八百の鼻の功德、千二百の舌の功德、八百の身の功德、千二百の意の功德を得るだろう。この功德ゆえに、六根は清浄になるだろう。この人は父母より頂いた肉眼で、三千大千世界のあらゆる處、下は阿鼻地獄から上は有頂天まで、すべての山、川、林、海を見るだろう。また、その中の一切の衆生を見、その因縁果報の有様を知るだろう。未だ天眼を得ずとも、この人の眼力はこのようである。また、この人は千二百の舌の功德を得るだろう。この清浄な舌で、三千大千世界のあらゆる處、下は阿鼻地獄から上は有頂天まですべての音、声、動物を聞くだろう。山の音、川の音、動物の音、鐘や鈴の音、喜びの音、悲しみの音、怒りの音、大人の音、子供の音、聖人の音、凡夫の音、天の音、地獄の音、菩薩の音、仏の音を聞くだろう。父母より頂いた耳で聞き、知るだろう。この法華経を持つものは、未だ天耳を得ずとも、この人の耳はこのようである。また、この人は八百の鼻の功德を得るだろう。三千大千世界のあらゆる處の香りを嗅ぐだろう。様々な天の香り、種々の草花の香り、動物の香り、臭い香り、香料の香り、宝玉の香り、衆生の香り、男の香り、女の香り、菩薩の香り、仏の香り、あらゆる香りを嗅いで、その所在を知るだろう。鼻はこわれることはないだろう。この法華経を持つものは、未だ無漏の法から生ずる鼻を得ていなくとも、この人の鼻はこのようである。また、この人は千二百の舌の功德を得るだろう。渋いものもその舌にのせれば、天の甘露のように美味しいものになるだろう。その舌で法を説けば、心地よい声と意を尽くした論理と絶妙な調子で、大衆はみな歡喜するだろう。天の眷属たちが法を聴くために来て、敬い、供養するだろう。僧や在家のものたち、国王や大臣や

群臣たち、人々みな来たりて供養するだろう。また、この人は、八百の身の功德を得るだろう。清らかな身体は瑠璃のようで、三千大千世界のあらゆる處、下は阿鼻地獄から上は有頂天まで、あらゆる衆生の生と死と、優れたものと劣ったものと、美しいものと醜いものと、幸福なもの不幸なものとはみな、鏡に映るようになり、この人の中に現れるだろう。僧たちや諸仏が説法している情景が、その中に現れるだろう。未だ法性の妙身がなくとも、この人の身体はこのようである。また、この人は、千二百の意の功德を得るだろう。この清らかな意で法を聴くと、一語一句を理解し、そして法を説けば一ヶ月でも四ヶ月でも一年でも続けて、過たないだろう。もし世間に流布する法華経以外の教説や政治や経済の話をして、みな正法から外れることはないだろう。衆生の心に生ずる思い、心の動き、心に浮かぶ妄想のことごとくを知るだろう。この人の語ることとはみな仏法に適い、真実ならざることはないだろう。法華経を持つものは、意が清く、未だ無漏の法を得ていなくとも、この人の意はこのようである。」

釈尊は重ねてこれを語らんとして詩句をもつて唱えた。

### 法号（戒名）の

### 大切さについて

近年、親を亡くされ「お寺のことは親がしていたので、全く分からないので教えて欲しい」と相談される方が多く、前号では卒塔婆の大切さについてお伝えしましたが、今回は「戒名」について、戒名を授けてもらうことの意味や授け方について解説いたします。

戒名は、人が亡くなった後につけるものだと考えている方が多いのではないのでしょうか。実は戒名は本来であれば生前に授かっておくものですが、近年では亡くなってから授けられる方が多くなっています。

故人に戒名を授ける理由は、出家してない人も戒名を授けてもらい葬儀を行うことで、迷わず極楽浄土に導かれるという考えからで、亡くなると戒名を授けてもらうようになりまし。つまり、戒名は仏の世界における故人の名前ということになります。



宗派によっては「戒名」という言い方ではない場合があります。浄土真宗では戒律がないために「法名（ほうみょう）」と言います。日蓮宗では「法号（ほうごう）」と言います。仏教以外の宗教には戒名は「霊号（れいごう）」と言います。亡くなった人の御霊（みたま）としての名前があります。

戒名の決め方には一定のルールがあり、日蓮宗では「院号・院殿号」○院の後に、「戒名」として生前の職業・趣味・先祖代々受け継がれている文字などを経典から取り、「日号」日蓮聖人の仏弟子となることを意味して、生前の名前の一字を選び、日〇と定め、「位号」男性は大居士・居士・信士、女性は清大姉・大姉・信女と定めます。位号は社会的貢献度・社会的地位・信仰心によって決まります。

仏式の葬儀には、戒名は必要不可欠なものなのです。

## お墓の承継とお悩みの方

出入りの石材業者から、最近新しいお墓を建てる人が少なく、墓じまいの依頼を受けることが多くなったと聞きます。墓じまいの一般的な進め方としては、1、親族の同意を得る、2、お墓の管理者に墓じまいの連絡をする、3、ご遺骨の受け入れ先を決める、4、墓地がある自治体で改葬許可証を発行してもらう、5、ご遺骨を取り出す、6、墓域を更地にして管理者に返還する（解体、撤去費用が必要）などの手続きが必要になります。宝清寺では、近年におけるお墓の継承問題の改善策として、檀信徒の皆様は、1、現在のお墓を残す方法、2、現在のお墓を撤去し、新設の納骨堂「蓮華堂」・「睡蓮堂」・「樹木葬」・「天空・友情の郷」にご遺骨を納骨する二つの方法を提案し、心おきなく日々をお過ごしになられるよう配慮しております。

### 1、現在のお墓を残す方法

現在ご使用の墓所を「永代供養墓」として残します。その場合、申込書に必要事項を記入し、永代供養料をご負担いただきます。その後の管理料は不要で今までの墓参やご供養ができません。

### 2、現在のお墓を撤去し、納骨堂「蓮華堂」・「睡蓮堂」・「樹木葬」・「天空・友情の郷」にご遺骨を納骨する方法

今お持ちの墓所を撤去（解体・撤去費用が必要）し、ご遺骨を納骨堂「蓮華堂」・「睡蓮堂」・「樹木葬」・「天空・友情の郷」に改葬し納めます。いずれも申込書に必要事項を記入いただき、納骨堂は永代供養料・樹木葬は申し込み費用をご負担いただきますが、管理料は不要で今までの墓参やご供養ができます。

## 令和六年度管理料納入のお願い

管理料は、毎年、三月末日が納入期限の前納制になっています。令和六年度の管理料の納期が近づいてきました。令和五年度までの管理料が未納の方は、早めにお納め頂きますようお願い致します。

### 納入方法

- 一 墓参の折、持参にて納める
- 二 銀行振り込みにて納める

※振り込みの場合の振込先

銀行名 多摩信用金庫 秋川支店  
口座番号 普通預金 一五一六二四九  
受取人 宗教法人宝清寺代表役員 石井 前琮

### 三 自動払い込みにて納める

※自動払い込みの場合の手続き方法

- ① 自動払い込みはゆうちょ銀行のみです。ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方が対象になります。
- ② 自動払い込みご希望の場合は、管理事務所指定用紙をご請求頂き必要事項記入後、最寄りのゆうちょ銀行に提出して下さい。
- ③ 引き落としは、毎年四月二十五日になります。

尚、ご不明な点がございましたら、管理事務所までお問い合わせ下さい。